

## リスクマネジメントグループ グループ討議報告

作成：小生方（麗澤大学）

1．日時：平成 17 年 11 月 9 日（水）10：00～14：40

2．場所：慶應義塾大学 メディアセンター 5 階 図書館事務室

3．メンバー

・出席 10 名

小生方麻里（麗澤大学）、片岡真裕子（東京農業大学）、川越智之（駒澤大学）、  
楠山直文（成城大学）、助川敦子（文化女子大学）、関全葵（東京家政学院大学）、  
高田涼子（国立音楽大学）、土屋貴之（法政大学）、森田敦子（東京国際大学）、  
新見敏子（中央大学）

4．討議内容（要約）

<パワーポイントについて>

土屋が作成したパワーポイントをメンバー全員でチェックし、話し合い、修正する作業をした。

- ・ 1 - 1 オンライン、雑誌の高騰、開館時間の延長等、図書館の周囲の環境が変化している。また派遣社員やアルバイト等様々な種類の人々が図書館で働いていることから、共通認識を持つ意味でもマニュアルが必要だ、という話を危機意識の薄さのところでは話すとよいのでは。
- ・ 2 - 1 企業のリスクマネジメントを参考にしつつ、大学に特化したものに作り変えた。企業の事例を調べたという程度でよいのでは。
- ・ 2 - 2 問題を整理するうえで必要な項目。
- ・ 3 - 1 具体的に図書館ではどんなリスクがあるか 利用者関連、資料関連、設備関連、災害関連、人材関連 or 人事関連（2007 年問題、職員間トラブル、スタッフの流失）を追加した。また、それぞれの項目で挙げる例を厳選する。
- ・ 3 - 2 マニュアル方式 マニュアルで間に合うもの、シミュレーション方式 やってみて事前に準備できるもの、とは言い切れない。マニュアルを作成して、評価し、また直して・・・、というように続くものであり、マニュアルを作って終わりではないことをアピール。
- ・ 3 - 3 3 - 2 をわかりやすい図で表したものを載せる予定。
- ・ 4 - 2 文献に掲載されていた「個人情報保護担当者にあたらしたら」の情報をのせてはどうか？まずやることは個人情報保護の洗い出し etc.
- ・ 5 - 1 「大学図書館員のための個人情報保護チェックシート」のよい点としては 業務の見直しになる。最低限のリスクを予測できる。最低限だけでも重要な項目を挙げている。このシートきっかけとして、危機管理意識をもってもらえる。いろいろな環境があり、一元的にマニュアル化はできないのでチェックシート問う形式を取っている。個人情報保護は法律で定められており、危機の中でも重要度が高い事項である。大学図書館の事例に特化している。

- ・ 5 - 1 5 - 2 チェックシートを添付したうえで、チェックシートの使い方も説明する。

#### 5. 今後の作業

- ・ 今回の意見を取り入れて報告大会用のパワーポイントを、土屋が修正する。
- ・ 個人情報保護チェックシート9 - 3 教員からの問い合わせに応じるなど、データ公開してないか、の項目について、データを残すことは大切であり、アクセスできない弊害であるという観点から、もう少し論文などを調べてみる。(片岡中心)
- ・ チェックシート完成後、実際に使用してもらい、意見を募る。

以上